

第3回「徳島市地域公共交通協議会」
会議録（要約）

平成21年10月16日（金）午前10時～午前11時30分
徳島市役所 南館5階 会議室

1 開 会

2 あいさつ

会長：佐藤第二副市長

3 委員の交代について

（事務局）

委員の交代について 三ツ本委員を紹介

4 協議事項

協議事項については、協議会規約第5条により会長が議長となり、議事進行についてとりおこなう。

（議長）

それでは、規約に基づきまして、議事の進行をさせていただきます。協議事項（1）の市民アンケート調査結果等の報告、協議事項（2）の課題の抽出及び基本方針と検討課題、協議事項（3）の今後のスケジュールについては、それぞれ関連していますので、まとめて事務局に説明をお願いします。

（事務局）

【資料1】及び【資料2】により説明

（議長）

それでは、課題の抽出につきまして、ご意見、ご質問等ございませんか。

（委員）

移動制約者の利用頻度、目的等はわからないか。移動制約者のニーズをふまえて検討すると、利用者が増えるのではないか。

（議長）

バスをほぼ毎日利用している人の内訳はわからないか。

(事務局)

集計して報告します。

(アドバイザー)

今年一年間、計画をたてて、来年度以降事業を支援していく。事業は幅広くピックアップするべき。そこから、2月までで何ができるかを決めていくべきだと思う。

答申の中では、企業路線、福祉路線以外に、バスを含めた市全体の公共交通を考える、競合しているところの効率化・調整も必要という提言がある。そのこともふまえて、考えていけばよいのではないかと。

アンケート結果で、徳島駅への新設を希望する人はどの地域の人か。駅に向かう路線がない人がいるのではないかと。住民がある程度負担をしてでも走らせたい人がいるかもしれない。不便地域をどうするかも課題の一つだと思う。

行政、事業者だけでなく、地域の住民、企業、商店街で地域の交通を考えていくという観点がある。最近、住民がある程度の負担をしてでも走らせて欲しい、マイバスということで成功しているところがある。徳島ではどうなのか、考えてみてはどうか。

(議長)

課題の中で全体的な連携がある。その中に含めていけばよいと思います。バスに限らず、住民の意見を反映し、相互に連携することを検討課題に加えてはどうでしょうか。表現は別にして、検討課題に加えたいと思います。

(委員)

幹事会でも、バスは移動サービス事業なので、どう市場にアピールしていくか、キャンペーンなど、サービスを広告していくことが必要との意見があった。エコ、健康、高齢者などの視点や、中心市街地活性化と連携し、どのようにアピールしていくか大事である。

(議長)

この中に入るものは、表現も含めて加えたいと思います。

(委員)

JRと相互補完する機能があればよいと思うが、徳島市では難しい。

PRが不足している。先日の100円バスもアンケートをとると、知らない人が多かった。バスの楽しさ、利便性をもっとPRしてもいいのではないかと。

バスは、地球環境面でCO2の25%削減に向けて、自家用車からモーダルシフトする上で重要な役割を果たしていく。高齢者の方はバスの快適性を求める。ユニバーサルデザインの視点も必要である。また、駐車料金を気にしなくてよい。

(議長)

実際にバスに乗ってもらおう。そのことで、自家用車とは違う景色が見える、ゆっくり乗れる、話ができる等のPRが必要だと思います。

(委員)

事業者の競合路線で、違うバスが続けてくることがある。続けてくるのは無駄なので、話し合いの場を作ってほしい。

郊外に行くと不便であり、色々な組み合わせが必要である。福祉路線については、停留所に駐輪場をつくるとか、地域のボランティアが車で停留所まで送るとか。市内に通勤する方には、郊外に駐輪場を作り、中心部までバスを利用するなどの方向も検討すればよいのではないか。

バスの目的地も時代のニーズに合わせて、停留所を変更することで利用頻度が高くなっていくのではないか。フジグラン、マルナカは利用者も多いので、循環バスを通す、便数を増やすなど考えられる。

(議長)

競合路線については3社が調整して、住民に使用しやすいようにダイヤ改正していくという意見だと思います。自転車でも使いやすいようにする。市バスでも何ヶ所かには、駐輪場を作っています。

利用にあわせて、新しいダイヤを作っていくことが重要です。課題には入っているので、表現として入れておきます。

(委員)

バス事業者3社で、組織を立ち上げ7月に話をしている。今後も進めていく。

(委員)

アンケート結果では、ほぼ毎日と2～3回で15%も利用している。バスの利用状況がよくなっても利用しないが45%には驚いている。去年10月以降、フジグランへの便を24便に増やしたら、かなり利用者も増えたということがある。

(議長)

確かに厳しい数字です。ニーズに合った形を取っていけば、利用者数も増えるのではないかと思います。

(アドバイザー)

利便性が上がれば。

(委員)

小松島市の推進委員会の中で、日々利用している人が1人しかいなかった。経費削減と逆行するが、活性化策で、バスに車掌を乗せて、道案内等をしてはどうかという意見があった。

(議長)

CO2の25%削減ということであれば、かなり削減してかないといけない。たとえば、

市議会でも、車の乗り入れ規制をしてはどうかという話があります。そうなれば、バスの利用も広がる可能性があると思います。

(アドバイザー)

鉄道で、徳島駅は減っているが、周辺の駅では増加しているのはなぜか。

(事務局)

周辺に住宅地開発が起こっているからではないかと思われます。

(委員)

中心部の駐車料金が高いので、パーク＆ライドで、駅で乗り換えている人も多いと思う。

(委員)

吉成駅の駅前に駐車場ができた。

(アドバイザー)

10月1日からタクシーの法律が変わった。タクシーも公共交通として位置づけられた。適正化、効率化していこうとしている。市内において、タクシーが供給過剰になっている。バスや鉄道とともに、タクシーも考えていこうとしているので、よろしく願いたい。

(議長)

他にご意見等もないようですので、課題の抽出については、ご意見を書き加えて進めさせていただきます。

次に基本方針については、これでよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし。

(議長)

それでは、基本方針に基づき計画策定を進めさせていただきます。

次に、検討課題について、ご意見等ございませんか。

(委員)

収益増加策として、PR、キャンペーンを入れてほしい。モビリティ・マネジメントは団地とあるが、PRになるので、地域を限定せず、もっと広い範囲で行ってもよいと思う。市民の意識をバスに向けるという意味が重要である。

(議長)

地域を限定するのではなく、実証実験として、あちらこちらでやってみるという視点が大事だと思います。そういうことも付け加えたいと思います。

(委 員)

市内のパーク&ライドの実施状況はどうか。

(事務局)

市内にはないが、市外で2カ所あります。

(委 員)

パーク&ライドは羽ノ浦、西麻植。パーク&バスライドは松茂。

(委 員)

郊外のスーパーの駐車場を借りれば、他県でよい結果が出ている。お店も儲かるし、取り入れていけばよいのではないかと。需要が見込めなくても、費用もいらないので、やっていけばよいのではないかと。

(議 長)

数の話ではなく、できるところから始めることが重要だと思います。市バスは路線が限定されているので、スーパーに接続しにくいということがあります。

(委 員)

羽ノ浦のスーパーの駐車場を利用してパーク&ライドを実施している。少し距離が遠くて、渋滞し時間のかかるところが望ましい。

(議 長)

広い視点で探して、立ち上げてみるのが大事だと思います。そういったことも付け加えたいと思います。

(委 員)

競合路線の料金体系、定期券はどうなっているのか。

(委 員)

定期券・回数券は共通で使える。事業者間で乗り継ぎも可能である。

(議 長)

他にご意見等もないようですので、検討課題については、ご意見を書き加えて進めさせていただきます。

次に、連携計画(骨子案)について、ご意見いただきたいと思いますが、特に意見がなければ、基本的にはこの流れで進めていきたいと思っています。どうでしょうか。

(委 員)

異議なし。

(議 長)

今後のスケジュールとして、第4回を11月に開催させていただくということによろしいでしょうか。

(委 員)

異議なし。

協議事項を含めた全体についても意見はなかったため、閉会した。

5 閉 会

(11時30分終了)